



ハカルワカル広場 だより

八王子市民放射能測定室

第 30 号 2019. 8. 20発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場
〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <http://hachisoku.org> ① hachisoku@gmail.com ② 042-686-0820

郵便振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室



山本智恵子さんのお話「子どもの健やかな成長を願って」の草の根運動

私は一介の主婦にすぎません。でも子供たちの命と健康を守りたいとこの 50 年、草の根で運動をしてきました。この運動は 1960 年代に暮らしていた立川のけやき台団地で始めました。1970 年代に入ると、高度成長で物価が上がり、公害問題が多発しました。そんな時、春山猷子さんに出会いました。彼女のミニコミ誌「とんねる」がポストに入っていて、「子どもの命を守り、よりよい社会を目指す」という活動目標に心を揺さぶられ、ともに活動を始めました。

初めに取り組んだのが「安全な食べ物とは何か」でした。農薬を使わない有機農法について学び、そのような作物を作っている生産者（人間らしい生き方、繋がりを求めて大地と格闘している全国の青年ら）とつながりました。有機農法の野菜を共同購入し、主婦市場で売りました。リヤカーで運び自転車で駆け回る生活でした。安全な食べ物だけでなく、合成洗剤を使わない運動、ベトナム戦争の加害国の国民として、ベトナムへ米を送る運動もしました。日本消費者連盟の元になった運動にもかかりました。1974 年に使用禁止となった添加物の AF2 はハムや豆腐の殺菌剤ですが、初代会長となった竹内真一さん（主婦の熱意に、官僚をやめて消費者運動に飛び込んだ方）の方針で、豆腐屋を 1 軒 1 軒回って協力を訴え、草の根から禁止に持ち込みました。

八王子市北野台に転居してからは、鈴木俊夫さんという、健康診断で血液中から残留農薬が検出され、有機農法へ大転換した青年と知り合い、主婦たちで援農に行き、生産者とつながりを持ちながら共同購入をしました。価格は生産者の希望通り、全品買取りをルールにしました。私は運動をする時は一人でやり始め方向性が決まってから周囲に声をかけるんです。

1986 年のチェルノブイリ事故で放射能汚染の恐ろしさを知り、高木仁三郎さんを招いて講演会を開いたり、測定室を作る運動もしました。八王子中央診療所の創設者の星川光義さんたちと原発反対運動もしました（この方は八王子教職員出身で、最後はお一人で原発反対運動をされていたそうです）。しかし福島原発事故を止められなかった。放射能の危険性を知りながら止められなかったことは申し訳ない気持ちでいっぱいです。その後は、遺伝子組み換え食品、BSE 問題、産地偽装問題、環境ホルモンの問題などに取り組んできました。今はゲノム編集食品の表示を求める運動に取り組んでいます。日本政府は、企業の側に立ち、なかなか国民の健康を守る立場に立ってくれません。私たちの運動はそれに抗う運動でした。そして、これらの運動は、自分だけが無農薬野菜を食べれば済むという運動ではなく、子どもたちの健やかな成長のために、どのような社会を築いていくかという運動だったと思います。



山本智恵子さん、斉藤金夫さん（前列中央と右）と一緒に！

＊参考文献・「安心して食べたい、食べさせたい！」（ほんもの食べ物を守り育てる会・山本智恵子著）山本さんの半世紀の活動の記録です。測定室にも置いて貸出しています。

斉藤金夫さんのお話「原発の危険を訴える運動」

「え～！本当なの！？」八王子市がヨウ素剤を備蓄していたと話す、西田照子さんは驚きました。今年の3月、ハカルワカル広場が「ヨウ素剤を全市民に配布してください」という請願を八王子市にしていた時のことです。そしてぜひその話をお茶会でして下さいとのことで今日はここにきました。

原発を54基も建設し、「絶対に安全です」と言っていた国と東電でしたが、私たちは原発の危険性を訴える運動をしていました。2004年5月24日、八王子総行動(*)で、市の防災課に「ヨウ素剤配備の要請」を行い、毎年その要請を行っていました。防災課(長)にヨウ素剤の必要性を認識してもらいたいと、様々な資料を届けました。特に2003年1月、市は川越市と「災害時における相互応援に関する協定」を結んでおり、その川越市は1994年に首都圏で初めてヨウ素剤を配備していました。このことを指摘すると課長は「勉強したい」と答え、2006年11月16日の要請に、「市の大規模災害時の緊急薬品にヨウ素剤2000錠を加え、保管場所の東海大病院と東京医科大学八王子医療センターに預けました」との回答をしました。しかし、私たちはこれを大々的に宣伝せず、防災課の判断を尊重しました。

ところが2011年3月11日の福島原発事故の後、市の保健所から私たちに電話があり、「ヨウ素剤を供出してほしいと国が言っているがどうでしょうか？」とのこと。「保健所の判断に任せます」との対応をしました。八王子のヨウ素剤が原発事故に役立ちました。(文責：西田照子)

(*注：八王子総行動実行委員会とは八王子市内の労働組合、民主団体、業者団体などで行っている団体で、これまで37年間、企業や官庁、八王子市に種々の要請を行ってきた。どなたも自由に参加可能です)

【追記】山本智恵子さんは、ハカルワカル広場をつくる運動で測定器を購入する資金を集めたとき、ご自身の繋がりのある地域の方々に声をかけて、たくさんのお金を集めてくださいました。

また斉藤金夫さんは、原発反対運動を地域で続けて来られたこと、ヨウ素剤の要請をすでにされていたことを今回初めて語って下さいました。このような地域の方の地道な運動の土台の上にハカルワカル広場の運動もあると思います。(西田照子)

【飯館村の絵】飯館村の線量が高くなった原因は地形だった。全村避難だったのに特養老人ホームに16人が残っていた。モニタリングポストの周りだけが徹底的に除染されていた。

斉藤金夫さん画



2012 福島原発事故の翌年、飯館村を訪れた時の絵



2011. 3. 17 雪が降り積もる中、被災地を歩く家族(釜石市)



「原発反対八王子行動」金八デモ 300 回に！

金八デモ実行委員会 共同代表 水谷辰夫

7月19日(金)、300回記念 金八デモが行われました。京王八王子駅近くにある船森公園に、80人を超える市民が集まり、集会とデモ行進を成功させることができました。

「300回記念デモ」のために、二週間前から金・銀のバルーンスティックを用意し、「音のだし方」を練習しました。当日午後5時15分、突然の雨に見舞われましたが次第におさまり、「ようし！やるぞ！」と気合が入りました。前日18日の『東京新聞』「多摩版」に、大きく写真入りで「脱原発社会 訴え300回 八王子であす記念デモ」と紹介され、いつもより多くの人々の声が公園に響きました。

6時からの集会は、「絹の道合唱団」がアコーディオン演奏と歌でにぎやかに盛り上げ、続いて八王子平和原爆資料館の上田紘治さんが、核兵器と原発への思いを語り、オカリナを演奏しました。次に、300回を祝って参加の脊戸柳さん、海外から羽田に着いたその足で参加のシェード広子さん、金八デモを立ち上げた二宮さんの三人にスピーチをお願いしました。最後に、「原発なくたって」とハンドベルの伴奏で「キラキラ星」の替え歌「安倍政治を許さない」を元気に歌いました。

6時30分デモ出発。デモコールのほかに、参加者の有志が原発反対の思いを沿道に向けアピールしました。また、音楽を交えてにぎやかにデモ行進をしました。

この7年を振り返ってみれば、子どもを乗せた自転車を止めて挨拶してくださる方や、沿道から手を振ってくれる方に、「いつも応援ありがとうございます」と応えながら歩くようになりました。抱っこされながら、かわいく手を振っていた女の子も小学生になり、家の外に出てきて、おうちの方と一緒に応援の声をかけてくれるようになりました。

金八デモは、まだまだ続きます。続くことを望んではいません。できれば早く「原発を止めます」という政府方針を聞きたいのですが、「もうしばらくは、続けなくては」というのが現実でしょう。「続けること、負けないこと、諦めないこと」が私たちの思いを実現するためには必要なのでしょうか。



冊子「放射能ってなんだろう？」を もう一度読んでみよう！



2014年3月15日発行 ハカルワカル広場編 放射能の基礎知識「ハカルちゃんとワカル先生の放射能ってなんだろう？」をもう一度読んでみませんか？この冊子は、発行から5年が経ちますが、子どもたちが読めるように漢字にルビがふってあり、かわいいイラストが豊富で、わたしたちができることを分かりやすく書いてあります。ぜひ手に取って子どもたちと一緒に読んでみてはいかがでしょうか。



木の間を小石が飛んでくるのと同じように、小さな放射線なら物質を突き抜けて飛んでくる。(放射能ってなに？)



「わからないけど大丈夫だろう」ではなくて、「わからないけど被害が起きてからでは遅いので、できるだけ被ばくを減らす努力をしよう」と考えたほうが良い。(健康な体をつくる)

原発事故から8年が過ぎ、事故直後の危機感は薄らいでしまったように思えます。けれど身の回りの放射性物質はそう簡単に消えてはくれません。ときおり立ちどまって確認し、子どもたちに伝えていけたらと思います。印刷した冊子「放射能って何だろう！」をご希望の方は、<http://hachisoku.org/blog/?cat=15> のフォームから送付依頼できます。(編集部)

測定結果 (2019年5月~7月)

ゼオライトの測定値は初期値引き算前 (Cs134の初期値は30Bq/kg程度)

検体	採取	県名	産地・採取地	検体重量(g)	測定容器	Cs137 Bq/kg	95%範囲(±)	Cs134 Bq/kg	95%範囲(±)	備考
ゼオライト	2019.6.14	東京都	八王子市元本郷町	948	1000	029.0	126.0	93.0	18.6	元八王子A-1
ゼオライト	2019.5.29	東京都	八王子市小比企町	1073	1000	458.0	92.0	67.6	13.9	小比企町A
土	2019.5.12	福島県	只見町	699	1000	342.0	68.0	46.8	10.7	定点観測
茶葉	2011	静岡県	静岡県産	323	1000	235.0	49.0	21.8	10.0	2011年産
砂選じりの土	2019.7.28	東京都	八王子市緑町	1231	1000	233.0	47.0	44.3	9.6	
土	2019.7.29	東京都	八王子市	840	1000	223.0	45.0	23.6	5.9	
土	2019.6.12	東京都	八王子市横川町	1100	1000	213.0	43.0	26.7	6.2	
土	2019.3.31	東京都	練馬区公園	603	1000	207.0	41.0	33.7	8.4	定点観測
ゼオライト	2019.7	東京都	八王子市館町	1023	1000	196.0	39.0	55.0	11.7	館町E
土	2019.7.29	東京都	八王子市	875	1000	179.0	36.0	20.6	5.3	
掃除機のゴミ	2018.3.16~19.7.12	東京都	八王子市八幡町	119	500M	175.0	40.0	47.7	15.8	60分測定
土	2019.5.14	東京都	八王子市	670	1000	128.0	27.0	58.8	12.9	
土	2019.5.27	東京都	八王子市	1171	1000	121.0	24.0	25.2	5.9	
土	2019.6.20	東京都	千代田区	718	1000	120.0	24.0	20.1	5.8	定点観測
土	2019.5.27	東京都	八王子市	1216	1000	105.0	21.0	18.6	4.6	
土	2019.6.20	東京都	千代田区	791	1000	104.0	21.0	23.8	6.1	定点観測
ゼオライト	2019.5.29	東京都	八王子市東浅川	947	1000	99.6	20.4	43.2	9.6	東浅川B
土	2019.5.27	東京都	八王子市	837	1000	96.0	19.8	27.2	6.7	
土	2019.6.17	東京都	八王子市北野台	697	1000	94.6	17.9	16.5	5.3	
土	2019.6.7	東京都	八王子市小比企町	1047	1000	93.3	18.9	25.4	6.1	
ゼオライト	2019.5.16	神奈川県	相模原市南区	1078	1000	90.4	18.5	39.0	8.7	相模台A
土	2019.6.4	東京都	八王子市北野台	1105	1000	87.8	18.0	36.1	8.2	
ゼオライト	2019.5.16	神奈川県	相模原市南区	951	1000	86.7	18.2	43.8	9.7	相模台B
土	2019.7.23	東京都	八王子市	899	1000	86.2	17.7	18.6	5.0	
土	2019.7.16	東京都	八王子市	859	1000	85.3	17.7	24.3	6.1	
土	2019.7.23	東京都	八王子市	1007	1000	81.9	16.9	25.7	6.2	
土	2019.7.23	東京都	八王子市	820	1000	78.2	16.5	23.3	6.0	
ゼオライト	2018.11~19.6.4	東京都	八王子市川口町	892	1000	76.7	16.6	43.7	9.9	川口町A
ゼオライト	2019.6.14	東京都	八王子市元本郷町	987	1000	68.9	14.9	30.8	8.9	元八王子A-2
園芸用培養土	2019.6.11	東京都	産地不明	714	1000	68.1	14.8	12.3	4.5	
土	2019.7.1	東京都	八王子市北野台	588	1000	61.9	14.1	18.7	6.1	
ゼオライト	2019.5.27	静岡県	御前崎市	901	1000	58.9	13.3	44.6	10.0	御前崎A
土	2019.5.14	東京都	八王子市	1057	1000	58.9	12.8	28.6	6.7	
土	2019.7.29	東京都	八王子市	737	1000	52.9	11.8	10.1	4.1	
土	2019.7.16	東京都	八王子市	884	1000	52.2	11.6	18.4	5.0	
土	2019.6.11	東京都	八王子市北野台	1356	1000	45.8	9.6	2.8	以下	
土	2019.6.25	東京都	八王子市	825	1000	44.3	10.0	11.5	4.0	
油で炒めたコシアブラ	2019.5.11	福島県	只見町	215	500	44.3	16.8	22.2	以下	60分測定
ゼオライト	2019.5.27	静岡県	御前崎市	907	1000	41.4	9.9	39.3	9.0	御前崎B
ゼオライト	2019.6.4	東京都	八王子市川口町	1107	1000	38.8	8.6	31.4	7.2	川口町B
ゼオライト	2019.5.4	東京都	八王子市長房町	1028	1000	36.1	8.7	37.4	8.4	長房A
コシアブラ	2019.5前半	山梨県	山梨県産	141	1000	36.1	16.2	22.1	以下	60分測定
土	2019.7.16	東京都	八王子市	1236	1000	33.4	7.6	13.9	3.7	
土	2019.6.25	東京都	八王子市	931	1000	33.0	7.8	12.4	4.0	
ゼオライト	2019.3.25~4.24	静岡県	御前崎市	1055	1000	30.9	7.7	34.4	7.8	御前崎D
ゼオライト	2019.7	東京都	八王子市館町	948	1000	29.9	7.7	36.9	8.4	館町C
ゼオライト	2019.5.29	東京都	八王子市小比企町	1079	1000	27.9	7.1	35.5	8.0	小比企町B
ゼオライト	2019.6.4	東京都	八王子市川口町	1170	1000	26.5	6.7	32.4	7.3	川口D
ゼオライト	2019.7	東京都	八王子市館町	834	1000	25.4	7.4	41.5	9.5	館町F
ドクダミ根と茎土付	2019.6.5	東京都	八王子市本町	213	500M	24.6	10.1	20.5	8.0	60分測定
ゼオライト	2019.7	東京都	八王子市館町	880	1000	23.9	7.0	39.9	9.1	館町B
ゼオライト	2019.3.25~4.24	静岡県	御前崎市	1080	1000	23.3	6.4	34.9	7.9	御前崎C
砂	2019.6.25	東京都	八王子市	1182	1000	23.2	5.8	15.3	4.1	
砂	2019.6.4	東京都	八王子市北野台	1220	1000	21.6	5.6	20.7	5.1	
砂	2019.6.11	東京都	八王子市北野台	1310	1000	20.4	5.2	16.3	4.2	
土	2019.6.17	東京都	八王子市北野台	825	1000	20.0	5.8	14.2	4.5	
ゼオライト	2019.7	東京都	八王子市館町	883	1000	19.8	6.3	36.6	8.5	館町A
ゼオライト	2019.6.20	東京都	八王子市横川町	1018	1000	19.7	5.9	34.0	7.8	横川町A
土	2019.6.25	東京都	八王子市	879	1000	19.7	5.6	15.3	4.5	
砂	2019.5.27	東京都	八王子市	1408	1000	19.5	4.9	13.6	3.6	
砂	2019.6.17	東京都	八王子市北野台	1045	1000	18.6	5.2	15.1	4.2	
ゼオライト	2019.6.19	東京都	八王子市高尾町	981	1000	16.1	5.4	31.8	7.4	高尾町A
ゼオライト	2019.3.27~5.8	東京都	八王子市高尾町	1033	1000	14.7	5.1	誤検出		高尾町A
ゼオライト	2019.7	東京都	八王子市館町	1073	1000	13.7	4.9	30.7	7.1	館町D
砂	2019.7.23	東京都	八王子市	995	1000	11.9	4.4	17.4	4.7	
ゼオライト	2019.6.19	東京都	八王子市寺町	1049	1000	10.9	4.6	31.0	7.2	寺町A
ゼオライト	2019.3.27~5.8	東京都	八王子市横川町	1059	1000	10.8	4.7	誤検出		横川町A



ハカってワかった話

二宮 志郎

物理法則は裏切らない

今回の測定結果表を見ると 2011 年産の茶葉が 4 番目の位置にあります。これは、2012 年 3 月 14 日に測定したものを、7 年 4 ヶ月間測定室で保管していて、それをもう一度測ってみたものです。中身が外部に漏れ出ないようにきちんと保管した場合、放射能は物理的半減期によって減るのみです。Cs137 は半減期 30 年なので、7 年 4 ヶ月での減少分は約 16% で、このレベルの減少は測定誤差に隠れてしまって、測定結果はほぼ減らないということになってしまいます。2012 年の時の Cs137 の検出値は 237Bq/Kg で、今回の測定結果は 235Bq/Kg とほぼ同じような数値が出ています。測定方法に若干の改善があったので、16% の分はその改善分程度ということのようです。

放射能は、その物理半減期を通して減っていくということに関しては決して裏切りません。半減期以上に崩壊を早める研究もあるようですが、何やら巨大な設備とエネルギーを使ってやっとなんかのわずかという程度で、「毒を消すためにもっと強烈な毒を使う」という感があり、実用には程遠いです。

広島・長崎から 74 年

この原稿を書くのが少し遅れてしまったせいで、8 月 6 日、9 日が過ぎてしまいました。「原爆の爆発時に大量に発生した放射能は 74 年を経てどうなっているのだろうか？」という疑問が湧いてきます。半減期 30 年の Cs137 であれば、74 年間で約 18% にまで減少します。かなり減っているとはいえ、元の量が 1000Bq/Kg であれば 180Bq/Kg ということから、まだまだ測定可能な量で残っているはずです。

「国立国会図書館デジタルコレクション」の中に「東京電力株式会社福島第一原子力発電所および広島に投下された原子爆弾から放出された放射性物質に関する試算値について」というタイトルの資料があります。<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/6017196>

これを見れば、福島原発事故と広島原爆で放出された放射能の量を比較することができます。Cs137 だけ比べれば、福島原発事故は広島原爆の約 170 倍の量を放出しています。

意外と少ない原爆の長半減期残留放射能

広島原爆が放出した Cs137 は福島事故の約 1/170 とはいえ、広島上空で一瞬の爆発によって放出されたわけですから、かなり高濃度に地表を汚染したのではないかと思われるのですが、実際はそうでもなかったようです。

そもそも、そういう調査資料があまり存在しないのか、あるいは存在するが公表されていないだけなのか、インターネットでリサーチするレベルではほとんど見つかりません。今中哲二さんがつい最近(2018 年)に調査結果を発表しているのですが、それを見てもデータの入手にはかなり苦労されているようです。今中さんの調査では結局原爆由来の Cs137 を示す確かなデータは得られなかったようです。今中さん達は 2013 年に早期入市者への入念な聞き取り調査の結果「ある『広島原爆早期入市者』の記録」も発表していて、大変興味深い話です。(インターネットで検索すればすぐ出てきます。)

黒い雨に打たれた人や、家族を探しに早期に爆心地に入った人達がひどい放射能障害に悩まされた話を聞いて、かなり激しい残留放射能があったことを想像していたのですが、Cs137 の様な半減期の長い放射性物質がほとんどないというのは意外なことでした。

長半減期放射能は今もどこかにある

どうして広島・長崎で出た長半減期放射性物質を調査した資料が少ないのだろうか？と思うと同時に、ハカルワカルを始めてから 8 回目の原爆記念日を迎える時までそういうことを考えてみなかった自分自身の想像力の乏しさも痛感します。

前述の資料によれば広島原爆が放出した Cs137 の量は 89 兆ベクレルと試算されています。物理法則は裏切らないので、その 18%、約 11 兆ベクレルの広島原爆由来 Cs137 は、幸いにも広島地では明確に検出されていないようですが、今もどこかにあるのです。もちろん Cs137 以外にも長半減期の放射性物質はあります。物理法則には逆らえませんが、「これ以上増やさない」ということはできるはずですが。

本の紹介



『核の脅威 / 原子力時代についての徹底的考察』

ギュンター・アンダース著 / 青木隆嘉 訳 法政大学出版局 2016.5.6.

本書は、1958年から1967年までに核の状況についてアンダースが書いた文章をまとめた論集である。出版に際しつけられた「はしがき」(1971年)と「まえがき」(1981年)の中で著者は、その間、核の状況がまったく変わっていないことを指摘し、それなのにむしろ反核運動が下火になってしまったことに落胆している。なぜ、核戦争による破局、つまり世界の破滅に無関係な人などいないのに、人々は鈍感でいられるのだろうか？ その理由として、破局の規模があまりにも大きすぎるため人間には想像することができない、またその被害があまりにも普遍的なため、その時はみんな死ぬのだから、と個人としては無関係だと思ってしまうことなどが挙げられている。

核の脅威についての考察は、現代社会の欠陥を見事にあぶりだす。まず、「現代人は自分が実際に製造したものの本当の規模や実際の効果を想像することができず、現代の産物を過去のカテゴリーや扱い方で処理できると信じて『時代おくれ』になって」いるという。全人類を滅ぼすことができる核兵器が、ごく一部の政治家の戦略的道具のように扱われていることはその顕著な例である。そういう状態であるにもかかわらず、技術はますます進歩し、その無限の力を制御することができない人類は強力であると同時に無力なのである。

また、人々は特定の役割(科学者であるとか、職業、職場など)に閉じ込められ、境界を超える行為、たとえば政治的な発言や行動から遠ざけられている。さらに労働という名のもと、大抵の行為が分業化、専門化しているため、自分がしていることの結果がわからず(知らずに核兵器の材料を作っているかもしれない)、倫理的な判断ができない状況に置かれている。

現代に直結する問題の中でも特に注目すべきは、核(=限界のない権力、無限の能力)と全体主義は対(つひ)の関係にあるという指摘だ。「核による全能は、全体主義国家の内政上の恐怖政治の外交上の片割れである」。どちらに向いているにせよ、その脅威の源は恐喝だからである。複数の国が核を持って他国を脅迫し、互いに脅迫されている状況が何十年も続いて来た現在、全体主義的な傾向が世界に蔓延しているように思われるのは偶然ではない。特に3.11以降、管理、監視社会化が急激に進み、政府が全体主義的な野望をあからさまに見せ始めた日本で、遅まきながら本書が邦訳出版されたわけもそこにある。

正直にいうと、哲学的な言い回しに慣れない私には四苦八苦の読書であった。けれども、私たちが抵抗しなければならない相手の正体を提示してくれているこれらの考察を読み解き自分のものとして、日常の言葉で語り合い、次の世代に語り継ぎ、なんとか破局がやっけないように関心を持ち行動し続けることが、いまや絶滅危惧種となっている私たちにできることなのだろうと思う。

(紹介者：石井暁子)



ギュンター・アンダース 1902-1992 プレスラウ生まれ 哲学、評論、国際的反核運動の指導者。著書『時代おくれの人間』上・下、『異端の思想』、『塔からの眺め』(いずれも青木隆嘉訳、法政大学出版局)、『われらはみな、アイヒマンの息子』(岩淵達治訳、晶文社)ほか。

維持会員の声

「北の大地より」

大久保 雅子



ハカルワカルの皆様へ 大変ご無沙汰いたしております。八王子を離れて3年半になりました。北海道へ来た当初、衆議院補選にぶつかりました。市民がそれぞれに自分のやり方で、自民党候補に対抗する候補を応援しました。そこで知り合ったのが由仁の方でした。

由仁は人口5千人弱の本当に小さな町で、産業は農業です。人間が動く昼の時間でも、由仁の銀座通り？はほとんど人影がなく、そのかわりにキタキツネが闊歩しています。その由仁の方達と、「ゆに9条の会」をやっています。先日「消費税10%増税中止を求める由仁の会」として30名の署名を集めて、町議会に意見書の採択を迫りました。結果はやはり不採択。高齢者が半分以上占めるこの町なのに、前例がないとか、一町村が国の政策に異議を唱えるのはいかなものかとか、そんなことが理由でした。無風状態の町議会にちょっぴり風を送りました。今度は嵐になるといいのですが。

またこちらで「泊原発廃炉の会・そらち」に加入しています。月一で映画会や学習会に取り組んでいます。去年初めて参加したものに、「泊原発廃炉でいいんじゃないかい！泊ロックフェス」があつて、今年も開かれます。七夕パレードもありますよ。ただ私は不良会員であり参加が出来ていないのですが・・・今取り組んでいる事を書きましたが、八王子ではとても大事な事を学ばせていただきました。自分がおかしいと思った事を、自分達で考えて活動することの大事さです。いわゆる市民活動の基本ですね。そして、一番重要なことは粘り強さでしょうか！皆さん、お体大事にしながら、頑張ってくださいね。冷夏になりそうなくらい寒い北の大地から、エールを送ります。

武力や脅しで平和は決して実現しない。国際ルールに従って話し合いで問題解決を！

(へいわ こうじ)



「日本の原発は安全」とフェイクニュース。捏造、隠ぺい、忖度。正しい情報を見きわめよう！

(仮面ライター)

真実の行方、本当のことって直ぐには分かりにくい、それをいいことに福島のウソから始まったオリンピック、都合の悪いことは消す。

デモ閻魔大王はウソつきを御見通しダ舌を抜かれるゾ、恐れを知らない者ヨ

(フェイク アウト)

つぶやき

韓国に輸出規制、しかも自分の首を絞める愚策。それが大半の国民の支持を得るといふ哀しい国。日本は韓国を植民地支配し、人権侵害をしていた。その過ちについて誠意を尽くせてないのがすべての原因なのでは？(国外脱出をしたい人)

映画「新聞記者」を観た。松坂桃李の演技力がすごかった！

こういう政治がテーマの作品が増えるといいな。

(白桃)



原発の事故は破滅的！その事故の確率は絶対にゼロでなければならない！

原発には倫理的に絶対的な判断を下せ！

(リスクと利益、安全リスクミの罫)



測定室からのご報告とお知らせ

8月

* 6月1日(土) 2019年総会

今年から年度区切りが4月～翌3月となったため、総会が6月開催となりました。総会内容は事務局メンバー紹介、昨年の活動報告、決算報告、2019年の活動方針と予算の話し合い。活動報告では、日常的な測定活動のほかに、福島ツアーの実施、「わたしの、終わらない旅」の上映会、中村敦夫さんの朗読劇「線量計が鳴る」の公演を行い、また、月1回のお茶会はテーマを原発、放射能から核兵器禁止まで広げ、充実に努めました。

総会終了後の意見交換会では、「ハカルワカル広場の活動をさらに活発にするにはどうしたらよいか?」について、多様な意見が出されました。例えば、「検体採集ツアーをする(山菜とり、ハゼ釣りなど)」「これまでのデータをわかり易く『見える化』できないか?」「ヨウ素剤配布の要請は続けてほしい」「測定に来ない人に汚染の実態を伝える方法はないだろうか?」などなど。

最後に、測定活動は検体が減ってきており困難な状況だが、原発がゼロにならない限り事故は起こりうる。「測定態勢は(一度やめると再構築が難しいので)なんとしても続けていきたい。」と皆さんで確認し終了しました。詳しくは同封の「総会報告」をご覧ください。(参加者 22名)

* 7月6日(土) 定例お茶会「地域に根差した草の根活動・・・

先駆的お二人(山本智恵子さん、斉藤金夫さん)に聞く」

山本智恵子さんからは、子どもの健やかないのちの育成を願って「食品の安全」の草の根運動をしてきたことをお話しいただき、草創期の日本消費者連盟の運動の裏話や、原発反対運動の様子などもお話しいただきました。その懸命な姿勢に会場の皆さんから「感動した」との声が多く寄せられました。

また、斉藤金夫さんの「八王子市との交渉でヨウ素剤を備蓄させた」とのお話も長年の地域での原発反対運動とあわせて、感嘆の声が上がりました。詳しくは巻頭の「7月お茶会のまとめ」をご覧ください。(参加者 26名)

これからの予定

- * 8月29日(木)～9月19日(木)「北ドイツの反原発ポスター展」@ハカルワカル広場、20点を展示
- * 9月7日(土) 第22回ハカルワカル映画会「第八の戒律」10時から@ハカルワカル広場 参加費 800円
- * 10月5日(土) 定例お茶会「廃炉について」講師: 渡辺敦雄さん(元原子炉設計者)
- * 11月2日(土) 定例お茶会「浜岡見学ツアー予習会」(予定)
- * 11月10日(日)「第4回浜岡原発見学ツアー(廃炉と産廃施設を考える)」実施、下記おしらせ参照

おしらせ

第4回浜岡原発見学ツアー 参加者募集!

～廃炉と産廃施設を考える～

- * 実施日 : 11月10日(日) 出発: 午前8時
- * 集合場所: 八王子駅南口みずほ銀行前
- * 参加費 : 7000円
- * 第1次募集締め切り: 10月10日
- * お申込み: ハカルワカル広場 HP 申込サイト、または電話、メールで

ハカルワカル広場はボランティアと、維持会員の会費で運営されています。

八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

〒192-0053 東京都八王子市八幡町5-11 八中ビル2F
お電話 問合せ **042-686-0820**

HP: <http://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com

【開室】火～金曜日: 10時～15時。土曜日: 10時～12時

ボランティア、維持会員募集中!

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室) 銀行からの振り込みは 019-0224460(八王子市民放射能測定室)